

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
E132L004	技術科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Industrial Arts (Junior High School))											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 市原靖士, 中原久志, 萩嶺直孝, 杉山昇太郎 E-mail ichihara-yasushi@oita-u.ac.jp(市原), nakaharah@oita-u.ac.jp(中原), hagimine@oita-u.						
授業の概要	技術分野の内容AからDについて, その学習内容を達成するために, それぞれの内容の教材開発(ICTの活用を含む), 指導案の作成, MT(マイクロティーチング)と相互評価を行う。											
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10					
目標1	中学校技術・家庭技術分野における実践的指導力を身に付ける。											
目標2	授業に関する理論と実践の往還をめざし, 各学習内容に関する教材や学習支援の方法を開発・評価する。											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	オリエンテーション(担当: 中原)											
2	ガイダンス的な内容(担当: 中原)											
3	内容「A 材料と加工の技術」 教材の開発(担当: 中原)											
4	内容「A 材料と加工の技術」 教材を活用した指導案の作成(担当: 中原)											
5	内容「A 材料と加工の技術」 MTと相互評価(担当: 中原)											
6	内容「B 生物育成の技術」 教材の開発(担当: 市原)											
7	内容「B 生物育成の技術」 教材を活用した指導案の作成(担当: 市原)											
8	内容「B 生物育成の技術」 MTと相互評価(担当: 市原)											
9	内容「C エネルギー変換の技術」 教材の開発(担当: 萩嶺)											
10	内容「C エネルギー変換の技術」 教材を活用した指導案の作成(担当: 萩嶺)											
11	内容「C エネルギー変換の技術」 MTと相互評価(担当: 萩嶺)											
12	内容「D 情報の技術」 教材の開発(担当: 杉山)											
13	内容「D 情報の技術」 教材を活用した指導案の作成(担当: 杉山)											
14	内容「D 情報の技術」 MTと相互評価(担当: 杉山)											
15	技術の評価・判断力の育成(担当: 市原)											
ラーニング	A:知識の定着・確認	教材を開発する				工夫 その 他の						
	B:意見の表現・交換	指導案を作成する										
	C:応用志向	相互評価を行う										
	D:知識の活用・創造											
時間外学習の内容と時間の目安	準備	教科書: 技術・家庭技術分野を熟読する(30h)										
	事後	指導案等を作成する(30h)										
教科書	中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省) 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(平成29年6月 文部科学省) 教科書: 技術・家庭技術分野(開隆堂)、新しい技術・家庭技術分野(東京書籍)											
参考書	技術科教育概論(日本産業技術教育学会技術教育分科会編)											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	受講態度	40%										
	教材開発	30%										
	指導案	30%										
注意事項	なし											
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。											
リンク												
	URL											